

# 文章表現に着目した 文学作品の読み取りについて

北海道天塩高等学校

教諭 中村大吾



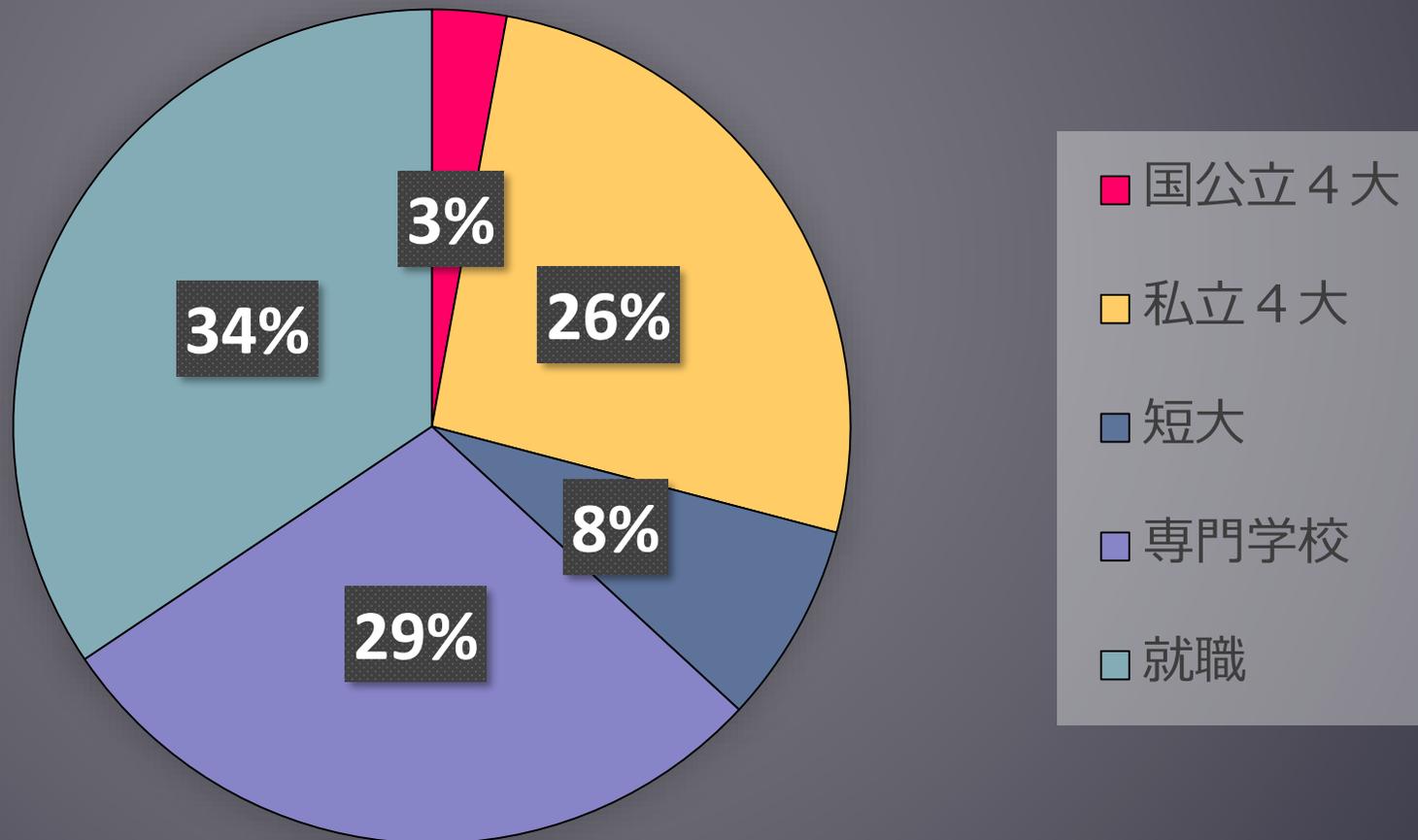
# 学校概要

- ・ 全校生徒 130名（2年生は1クラス）
- ・ 町内に小学校2校、中学校1校
- ・ 2 / 3の生徒は町外から通学  
（遠別、初山別、中川、幌延、豊富、稚内）



# 学校概要

## 過去5年の卒業生の進路



# 天塩高校の課題

- 生徒数が少ない（≒教員数が少ない）
- 学力、進路希望の幅が広い

→ 個別対応が困難

# 天塩高校国語科の抱える課題①

- 学力差、特性による理解度のばらつき  
一斉の説明では授業がすすまない

個別対応の困難さ ⇔ 一斉指導の困難さ

## 天塩高校国語科の抱える課題②

- 場面を適切に想像しながら読むこと  
登場人物の心情、行動の理由などの  
根拠を見つけることが苦手  
(「なんとなく」で読んでしまう)

## 課題解決のために

- ▶ 本文から重要事項を「発見する力」をつける
  - 重要事項が何か（何を探せばいいか）を明確に示せれば、学力差に関係なく作業が可能ではないか

# 授業実践① 国語総合

単元「物語がもつテーマ性」

題材「バスに乗って」重松清

「子供たちの晩餐」江國香織

目標 ①段落ごとの描写に着目し、「小説の読みかた」の  
ポイントについて整理する

A 話の筋をとらえる

B 登場人物の内面を理解する

C 情景や場面をイメージする

②人物の心情の変化と、その原因・理由をとらえる

# 授業実践①－1「バスに乗って」

## 別紙1

発問 ①「これを全部使うことはないから」とあるが、この発言はどのような気持ちから出たものか考えよう。

②またその根拠となる表現を第二段落から抜き出そう。

ヒント① 父の本心はどこにあるだろう

② 本当に全部使わないとしたら…

# 授業実践① – 2 「子供たちの晩餐」

## 別紙 2

発問 作者は作品をとおして、子ども  
どのような性質を描こうとしたのか。

→ 「反抗心」のような答えはすぐ出るが…

## 授業実践② 現代文B

単元 「題材の象徴的意味」

題材 「カンガルー日和」 村上春樹

目標 登場人物の言動の理由について  
根拠をもって理解する

## 授業実践② 「カンガルー日和」

➡ 別紙 3, 4

初めての授業での生徒の感想

「彼女はなぜかカンガルーにこだわる

めんどくさい人」

→ 「こだわる理由は何か」に気づかせたい

## 実践まとめ

- ▶ 全体に共通すること
  - ・ 「疑問がないこと」に疑問をもてるように
  - ・ 「注意して読めば、必ず新たな発見がある」と思わせられるように

「変じゃない？」 「矛盾してない？」

「なんでわざわざこんなことしたの？」

# 今後の課題と展開

- ➡ 適切な問を設定することの困難さ
- ➡ 長い作品（羅生門、こころ、山月記など）での  
配当時間のバランス
- ➡ 評論や古典への展開